

｜ 平成 27 年度 ｜

びわ湖ホール

# 劇場サポーター活動記録集



滋賀県立芸術劇場

---

びわ湖ホール

BIWAKO HALL CENTER FOR THE PERFORMING ARTS, SHIGA

## はじめに

2015年度の「びわ湖ホール劇場サポーター」は、節目の20年を迎えたアニバーサリーな年となりました。こうした支援組織を持つところは、現在では数多くありますが、20年間継続・活動しつづけている団体は稀有ではないでしょうか。このように続いたのは、最初に明確なミッションがあったからではないかと思います。つまり、びわ湖ホールが掲げる「舞台芸術を創造する」との両輪である「観客を創造する」という揺るぎない方針があり、サポーターの皆様には、まさに観客を創造する一旦を担っていただけてきました。

この20年間、サポーターのみなさまには、高品質の舞台芸術の魅力に浸り、その魅力を口コミ等で友人や家族に伝え、また互いに語りあってサポーター同士の交流を深めながら、気がつけば大勢の観客を創造していただけてきました。

節目の20年目、私自身も含めサポーターの理念、劇場にとって大切なものは何かなど模索した年でもありました。サポーター活動の魅力は、常々好奇心を持ち、それぞれに関心のある分野の情報交換などを通じて愛好家の輪を拡大し、これまで劇場に足を運ぶ機会がなかった方も含めてびわ湖ホールのファンをつくることにあります。これは、あくまで人と人とのつながりから生まれるものであり、デジタル化されたコミュニケーションとは比較になりません。今後ともよろしくお願いいたします。

最後に、わたくしの重大な決断を報告します。

2016年度からは、いよいよワーグナーの4部作「ニーベルングの指環」をびわ湖ホールの舞台機構をフルに活用して毎年1作品ずつ制作・上演します。近年では、東の新国立劇場、西のびわ湖ホールといわれるようになりましたが、さらに、【日本のパイロイト】といわれてみたいものです。

サポーターの皆様には、びわ湖ホールが企画する講座等のプログラムや、2016年度からスタートするサポーターとびわ湖ホールスタッフとのコミュニティの場である〈サポーターズ・サロン〉を通じて大いにPRしていただければと思っております。

公演のときには、ロビーに出ておりますのでいつでもお声かけください。皆様のお越しをお待ちしております。

2016年3月

公益財団法人びわ湖ホール

理事長・館長 山中 隆



## 目 次

---

劇場サポーター活動報告 .....	1
平成 27 年度 劇場サポーター研修の概要 .....	23
平成 27 年度 劇場サポーター自主活動の概要 .....	24
平成 27 年度 びわ湖ホール劇場サポーター運営要綱 .....	25
平成 27 年度 劇場サポーターの内訳 .....	26

---

# 平成27年度劇場サポーター研修の概要

## ◎ 劇場サポーター 舞台芸術基礎講座

### ○ オリエンテーション・大ホール見学会

日 時 平成27年5月10日(日) 14:00～15:00  
場 所 びわ湖ホール研修室、大ホール  
内 容：劇場サポーターの活動内容の詳細説明、  
27年度の主な活動予定説明、大ホール見学 など



(大ホール見学会の様子)

### ○ 第1回 基礎講座(参加者数：21名)

日 時 平成27年8月2日(日) 13:00～14:00  
場 所 びわ湖ホール 研修室

#### ■ 講 義

標 題：びわ湖ホールの政策・制作・製作 ～オペラやラ・フォル・ジュルネを例に～

講 師：初 田 靖 (びわ湖ホール広報マーケティング部長代理)

内 容：オペラやラ・フォル・ジュルネを題材にして、舞台公演が出来上がるプロセスや実情を交えながら、舞台公演の魅力を語る。

### ○ 第2回 基礎講座(参加者数：6名)

日 時：平成28年3月20日(日) 14:00～15:00  
場 所：びわ湖ホール 研修室

#### ■ 講 義

標 題：「劇場で大切なこと」～びわ湖ホールの開館に携わって～

講 師：片 浦 正 和 (照明デザイナー)

内 容：びわ湖ホールができるまでの軌跡やこだわりを語る  
とともに、ロームシアター立ち上げに関わった際の  
裏話を語る。



(中村敬一氏による歌劇  
「ルサルカ」オペラ講座の様子)

## ◎ 公演関連講座研修

びわ湖ホールで開催する主催公演をより一層お楽しみいただくとともに、周囲の方々へ積極的に公演のPRをしていただけるよう公演関連講座研修を実施。

- オペラ入門講座「竹取物語」(全2回)(参加者数 1回目：11名 2回目：10名)
- 歌劇「ルサルカ」オペラ講座(全1回)(参加者数 9名)
- オペラ入門講座「さまよえるオランダ人」(全2回)(参加者数 1回目：11名 2回目：8名)
- ワーグナー・ゼミナール(上級編)(全3回)(参加者数 1回目：8名 2回目：8名 3回目：7名)
- 古典芸能講座《歌舞伎編》(全2回)(参加者数 1回目：8名 2回目：8名)
- 古典芸能講座《狂言編》(全2回)(参加者数 1回目：8名 2回目：9名)

## ◎ サポーターメーリングリスト

びわ湖ホールからの事務連絡や自主交流会の案内、公演や講座の感想などのやりとりをしています。

# 平成27年度劇場サポーター自主活動の概要

## 1. 定例会の開催

- (1) 5月10日(日) 第1回定例会  
(自主交流会紹介/年間計画紹介/メーリングリストでの各種案内方法 ほか)
- (2) 7月5日(日) 第2回定例会  
(自己紹介/びわ湖ホール of 歴史の一頁  
～「ばらの騎士」を見ながら～(井上元館長による) ほか)
- (3) 9月13日(日) 第3回定例会  
(オーケストラの楽器たち/音楽は誰のためにあったのか ほか)
- (4) 11月22日(日) 第4回定例会  
(歌劇「ルサルカ」レクチャー/みんなでわいわい語ろうよ ほか)
- (5) 12月20日(日) 第5回定例会  
(滋賀県立芸術劇場誕生と劇場サポーター制度について/上原元館長を囲んで ほか)
- (6) 1月17日(日) 第6回定例会  
(歌劇「さまよえるオランダ人」/ワーグナーについて ほか)
- (7) 2月28日(日) 第7回定例会  
(歌劇「フィガロの結婚」レクチャー/20年間の「自主交流会」を振り返る ほか)

## 2. サポーター通信「Harmonia (ハルモニア)」の発行

- (1) 7月 特別号  
(新規劇場サポーターを含む劇場サポーター、びわ湖ホール広報マーケティング部職員の紹介)
- (2) 10月 第35号(2015年秋号)  
(びわ湖ホール of 政策・制作・製作/歌劇「竹取物語」観賞記/無人島のオペラ ほか)
- (3) 3月 第36号(2016年春号)  
(私のラ・フォル・ジュルネ of 楽しみ方/シアターメイツ of ご案内/各グループ紙上勧誘合戦 ほか)

※ サポーター通信「Harmonia (ハルモニア)」…

サポーター同士のコミュニケーションを図り、びわ湖ホールをはじめとする、あらゆる舞台芸術の面白さを外部に向けて発信することを目的とした「サポーター通信」は、1998年10月から1999年6月までに創刊準備号として3号を、2000年には名称を“Harmonia”(ハルモニア)として昨年度までに創刊号～第34号を発行しています。

## 3. レクリエーションの実施

- (1) 4月18日(土) 菅浦ハイキング
- (2) 5月24日(日) わいわい!コンサート
- (3) 6月13日(土) 20期歓迎 大津・膳所街歩きハイキング
- (4) 7月5日(日) サマー・パーティー
- (5) 10月10日(土) 熊野古道(馬越峠)を歩く
- (6) 11月28日(土) 紅葉狩りハイキング
- (7) 12月20日(日) クリスマス・パーティ

## 4. その他

- ラ・フォル・ジュルネびわ湖「熱狂の日」音楽祭2015(2015年5月2日(土)・3日(日・祝))へのボランティア参加。

# 平成27年度びわ湖ホール劇場サポーター運営要綱

## 1. 趣 旨

地域や職場、友人など、人のネットワークを生かして、びわ湖ホールとそこで上演される舞台芸術を生活に身近なものと感じる愛好者の輪を広げることを目的に、びわ湖ホール劇場サポーター（以下「劇場サポーター」という）を設置します。

## 2. 劇場サポーターの役割

- 舞台芸術についての情報およびびわ湖ホールで開催する公演の情報を、口コミやチラシ配布などにより地域や職場の方、ご友人に広く伝え、観客創造につなげていただきます。
- 舞台芸術に関する講座や研修を受講し、知識を広め関心を高めていただきます。
- 勉強会や交流会などの自主活動を通じて、ネットワークづくりを進めていただきます。
- 公演運営のお手伝いをお願いすることがあります。

## 3. 劇場サポーターの定員と登録

公募により選ばれた方を劇場サポーターとして登録し、定員は概ね100人、登録期間は1年間とします。

## 4. 平成27年度活動

- (1) 舞台芸術情報やびわ湖ホールにおける公演情報の地域や職場、友人等への広報
  - ・ 口コミやチラシ配布などによるPR活動
- (2) 舞台芸術に関する研修の受講
  - ・ 公演関連講座
  - ・ 基礎講座
- (3) 自主活動
  - ・ 交流会などの開催
  - ・ 劇場サポーター通信 (Harmonia) の発行

## 平成27年度劇場サポーターの内訳

### 【期 別】

18期 20名  
19期 9名  
20期 14名

### 【性 別】

男 性 19名  
女 性 24名

### 【居住地】

●滋賀県 25名  
大津市 15名  
草津市 4名  
栗東市 1名  
野洲市 1名  
甲賀市 2名  
東近江市 2名  
●京都府 8名  
●大阪府 6名  
●兵庫県 1名  
●奈良県 1名  
●愛知県 1名  
●東京都 1名

---

計 43名

発行 公益財団法人びわ湖ホール

発行年月 平成28年3月

〒520-0806 大津市打出浜15-1

TEL 077-523-7133 FAX 077-523-7147

URL <http://www.biwako-hall.or.jp/>